

平成28年3月22日

保護者様

岡山県立倉敷まきび支援学校
校長 小田 幸伸

平成27年度 学校評価アンケートの集計結果について

先般、実施いたしました学校評価につきまして、結果をお知らせいたします。

記

[保護者・施設職員の評価]

回収率は75.1% (昨年度79.9%) でした。
「あてはまる」「ほぼあてはまる」(肯定的意見)の合計が70%を越えている項目は昨年は14項目でしたが、次の2項目でも70%を越える評価をいただき、全16項目が70%を越えました。

- ・「教材や教具の整備、工夫を行い、授業に生かしている」(68.6→83.3%)
- ・ホームページの充実や行事案内など、外部への情報発信を積極的に行っている。(68.0→78.8%)

しかし、「あてはまる」の意見が50%を越えている項目は、全16項目の内、6項目と更なる改善が必要です。そのような項目をはじめ、自由記述でもいただきました保護者の皆様からのご意見については、次のような対応をしていきます。

- 「自然災害や不審者などに対する危機管理を適切に行っている」(73.0%)
→ 今年度、飲料水や非常食、毛布を整備しました。また、火事や地震を想定した避難訓練を合計3回、不審者対応訓練(夏休み)を1回行いました。今後は、水害への対応や地域・保護者と連携・協力しての対応も計画、実施していく必要があると考えています。
- 「地域の資源や人材を活用したり、地域へ貢献できる活動を進めたりしている」(73.4%)
→ 現在行っている取り組みの情報発信をしっかりと行います。
今後更に、必要な人材を活用したり、経験の拡大と共に地域への貢献や実生活に具体的に活かせるような活動にも取り組んだりしていきます。
- 「鉄道やスクールバスなど通学の安全確保について」(77%)
→ 鉄道については、新入生が入ってくる年度始めや学期始め等、時期を考慮し指導体制を強化して取り組んでいきます。また、各駅や真備陵南高校とも連携していきます。スクールバスでは、運転手や添乗員と子どもの実態等や情報を共有し、課題があれば担当がバスに乗車するなどの指導を継続して行っています。また、バスを安全に運行することができるようスクールバス利用のきまりについて、保護者の方の協力をいただきながら指導に取り組んでいきます。
- 「職員数について」
→ 県の標準的な職員定数を満たしています。学校運営や校内分掌の工夫、ボランティアの方の協力や社会人活用(専門的な指導)等を行っていきます。
- 「情報発信について」
→ 各種便りやホームページで、取組内容や行事案内など発信していますが、分かりやすく正確に伝わるよう工夫をしていきます。また、ニーズの多い進路・福祉関係の情報も引き続き、発信していきます。

[教職員の評価]

全18項目のうち、「あてはまる」「ほぼあてはまる」(肯定的意見)の合計が70%を越えている項目は16項目でした。

一方、残りの2項目は昨年度よりは微増していますが、次のとおりでした。

- ・「部門を越えて、統一的な指導ができる体制を整えている」(40.7%→48.7%)
- ・「小学部から高等部まで一貫した学習活動を展開している」(39.5%→41.6%)

かなり厳しい評価です。本年度、自立活動等の授業や校外学習、修学旅行、運動会、文化祭等の行事で、知的障害部門と肢体不自由部門との相互乗り入れを実施してきました。また、小学部から高等部までの一貫した学習活動ができるための基盤作りや他部の実態や状況を具体的に把握することを目的に、事前の情報交換を行った上で、教職員が学部を越えて終日クラス担任として所属する取り組みも、2学期後半から3学期にかけて行いました。

取り組みの成果と課題を踏まえ、今後更に検討・工夫して、部門を越えた指導に取り組んでいきます。また、個別の教育支援計画や個別の指導計画もしっかり活用して取り組みを進めていきます。

以上、結果を真摯に受け止め、来年度の学校経営に生かしていきたいと思っております。
ご多忙の中、ご協力いただき、ありがとうございました。